

## 2008年岩手・宮城内陸地震による地すべり性地表変動のSAR干渉画像による観測 InSAR-image observation of landslide surface deformation triggered by the 2008 Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake

佐藤 浩<sup>1\*</sup>, 宮原 伐折羅<sup>1</sup>, 岡谷 隆基<sup>1</sup>, 小荒井 衛<sup>1</sup>

Hiroshi, P. Sato<sup>1\*</sup>, Basara Miyahara<sup>1</sup>, Takaki Okatani<sup>1</sup>, Mamoru Koarai<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 国土地理院

<sup>1</sup>GSI of Japan

合成開口レーダー (SAR: synthetic aperture radar) は, 人工衛星や航空機から地表に向けてマイクロ波を射出し, その反射波を観測して地表面の性状を把握する技術である. ALOS/PALSAR データを使った平成 19 年 (2008 年) 岩手・宮城内陸地震 (M 7.2) の地殻変動に伴う SAR 干渉画像は国土地理院ホームページから公開されている. 国土地理院の栗駒火山土地条件図と重ね合わせて詳細に検討すると, 地殻変動とは別に局所的な変動を示す干渉縞が見られ, これが火砕流堆積面における地すべり性地表変動を検出した可能性があるため報告する.

キーワード: 地震, 岩手・宮城内陸地震, 地すべり, SAR

Keywords: earthquake, Iwate-Miyagi Nairiku earthquake, landslide, SAR